

研磨器の違い

研磨器のEG-44とEG-400の違いは単純明快！！今回は研磨器の違いをご紹介します。

◆◆ ポイントは顕微鏡！ ◆◆

EG-44とEG-400は、モーター回転数や対応ガラス管、研磨方法など、殆どの機構が同じです。大きな違いは、顕微鏡搭載型か顕微鏡非搭載型かの違いだけです。



EG-400
顕微鏡搭載型

EG-400は10倍接眼レンズおよび3倍対物レンズを搭載し、研磨面を観察しながらマイクロピペットを接触させることが出来ますので、容易に研磨が可能です。又、顕微鏡には首振り・おじぎ機構が装備されていますので、観察位置を微細に調節しながら視野を変える事が出来る様に工夫されています。

初心者の方でも扱いやすいので、弊社ではお勧めしています。



EG-44
顕微鏡非搭載型

コンパクトで場所を取らず、お求め安い価格ですのでお気軽にお買い求め頂けます。

ユーザーのお手元に実体顕微鏡や虫メガネがあれば、組み合わせてEG-400の様に使用するなど、工夫ひとつでいかようにもお使い頂けます。

☆ ここで豆知識① ☆

研磨器に標準装備されている注水及び排水装置は、なぜ装備されているか知っていますか？それは、EG-400/44に取り付いている砥石には湿式を採用しているので、研磨を行う際に水を垂らしながら行くと、研磨面をきれいに研磨する事ができます。又、水を垂らす事により研磨しているマイクロピペットへのゴミの付着を軽減させることが出来るのです。

☆ ここで豆知識② ☆

砥石は用途に合わせてオプション砥石をご用意しております。通常5000番が装備されていますが、目の粗い3000番及び1500番があります。又、特注になってしまいますが、研磨面をさらに細かくする事も可能です。

ご希望の際は弊社までお問い合わせください。

<ポイント！>

ご紹介してきましたEG-400/EG-44はもちろん、製品について疑問や質問があった時は、弊社ショールームをご利用ください！機器の取り扱い方法の説明や、実際に機器に触れて講習が受けられます。

ショールームの詳細内容はホームページでご確認ください。

ナリシゲカスタマーサポートセンター

TEL: (+81) 03-3308-8232

E-MAIL: sales@narishige.co.jp